

相談窓口

一人で悩まないで！ STOP!! ネットいじめ
STOP!! 人権侵害 相談サイト (堺市教育委員会)
http://www.sakai.ed.jp/gakkokyoikubu_soudan/
スマートフォンや携帯電話、パソコン等を利用したい
じめ(ネットいじめ)の相談窓口です。メールでも相談
できます。

堺市の相談窓口 (電話)

・いじめに関する相談 (生徒指導課)

072-228-7436

月-金 9:00~17:30

・子ども電話教育相談「こころホーン」(教育センター)

072-270-5561

24時間対応

子どもの人権110番 (法務省)

<http://www.moj.go.jp/JINKEN/jinken112.html>

0120-007-110

月-金 8:30~17:15

子どもの人権SOS-eメール (法務省)

https://www.jinken.go.jp/soudan/PC_CH/0101.html

相談を申し込んだ後に、相談内容を書き込むための案内がメールで届きます。



発行 令和3年9月

堺市立美原図書館

〒587-0002

堺市美原区黒山167-14

電話 072-369-1166

FAX 072-369-1168

たいせつにしたい あなたのじんけん

10代前半のあなたへの
ブックリスト
「SNS いじめについて」



あなたや周りのお友達は、スマホを持っていますか？
いま、小学生で5人に2人、中学生で5人に4人以上
が持っているそうです。

	スマホを持って いる人の割合	3時間以上ネット を使う人の割合 (平 均使用時間)
小学生	41.0%	33.6% (146.4分)
中学生	84.3%	52.0% (199.7分)
高校生	99.1%	69.5% (267.4分)

総務省「青少年のインターネット利用環境実態調査」
(令和2年度)より



友だちとのLINEなどで、楽しい情報を集めたり、
発信したりするのに便利なSNS。でも、思い違いやう
っかりしたやりとりが、悪口になったり、「ネットいじ
め」「SNSいじめ」につながる可能性があります。

自分もほかの人も傷つけないように、また、加害者
にも被害者にもならないように、ルールを知り、相手
を思いやることが大切です。



はじめのいっさつ

もっと知ろう

「学校に行けない私たち」 913 (よみもの)

神山歩 / 著 えりんご / 原作・イラスト 小学館 2019

高1と中1の女の子が主人公として登場する2つのストーリー。一人になりたくないから、まわりと一生懸命合わせようとする彼女たち。SNSによる誤解や少しのいじわるが、深く傷つけあう結果につながります。



「本当に怖いスマホの話 次はキミの番かも

しれない……」 694 (しらべる) 遠藤美季 / 監修 金の星社 2015



「友人トラブル」や「SNS いじめ」など、スマホによるトラブルの事例を6章に分けて、マンガや文章で紹介。注意したほうがよいことや、解決方法も載っているので、参考にしてみては。

「ネットいじめ 学校のトラブル解決シリーズ6」 371 (しらべる)

ロビン・マッケカーン / 作 大月書店 2009

何をどこまでやったら、ネットいじめになるの？クイズや相談コーナーなどで、具体例がわかります。やっていいことと、わるいことがあることを、みんなが気づくことができるように教えてくれます。



たいけんだん

「SNSトラブル連鎖」 913

高橋幹子、みうらかれん / 著 金の星社 2018

「尾木ママの女の子相談室2 スッキリ解決★友だちの悩み」 159

尾木直樹 / 監修・文 ポプラ社 2014

「NHK スマホ・リアル・ストーリー 危険から身を守る」 694

NHK「スマホ・リアル・ストーリー」制作班 / 編 岩崎書店 2019

しらべる・まなぶ

「最新版 親子で学ぶインターネットの安全ルール 小学生・中学生編」 547

いけだとしお / 文 ジャムハウス 2018

「スマホ・パソコン・SNS こどもあんぜん図鑑」 547

講談社 / 編 講談社 2015

「ネットのルール 学校では教えてくれない大切なこと12」 547

関和之 / マンガ・イラスト 旺文社 2016

「気をつけよう！シリーズ (汐文社)

「気をつけよう！ネット動画1～3」 547

「2 動画投稿に潜むワナ」 2020

「気をつけよう！スマートフォン1～3」 694

「2 SNSとメッセージ」 2015

「気をつけよう！情報モラル1～6」 007

「6 誹謗中傷・炎上編」 2018

本のタイトルのあとの記号や数字は、図書館で本を探すときに知っているとう便利です

ここで紹介する本をきっかけに、なにか心あたりがある人は、まずまわりの人に相談してみたり、裏面の相談窓口ご連絡したりしてみたいかがでしょうか。